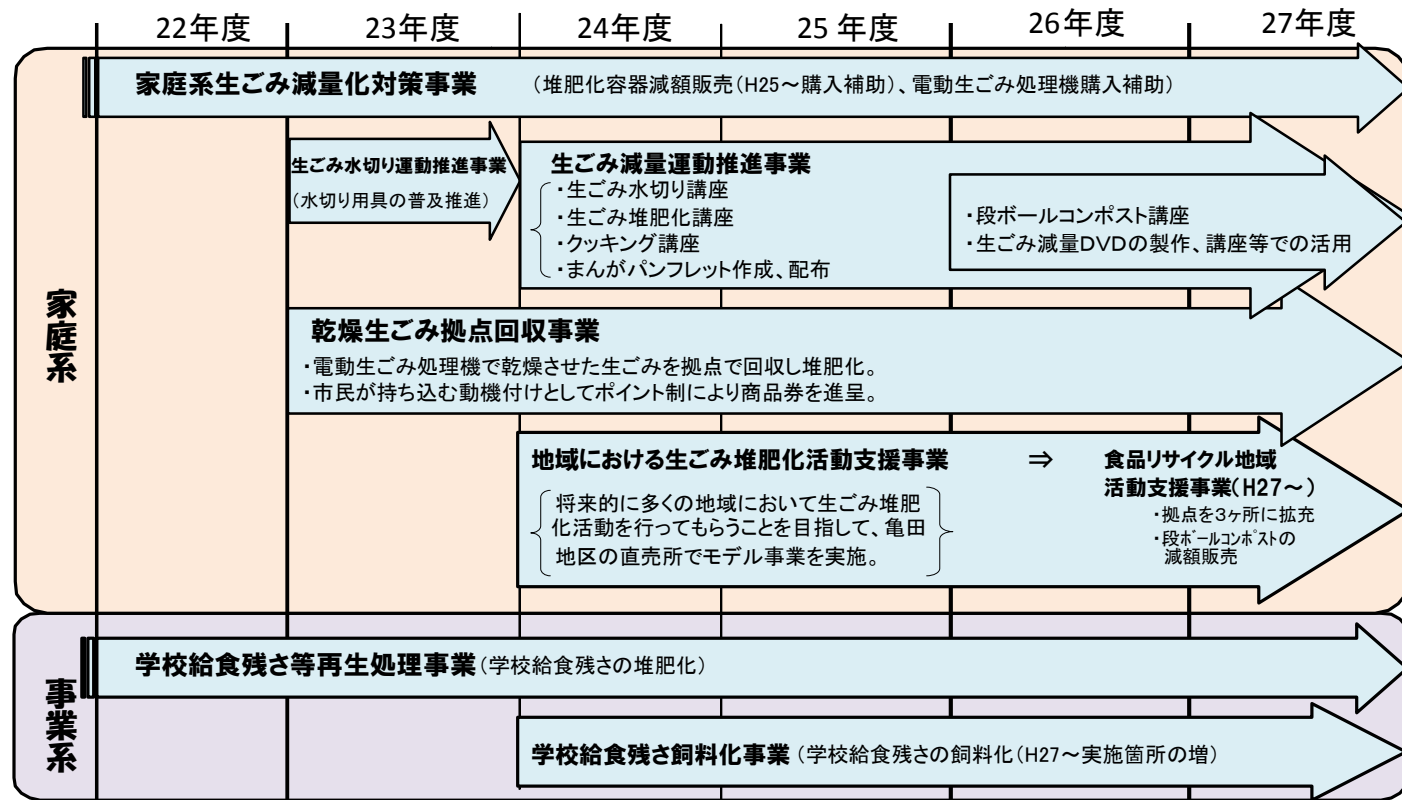


生ごみ減量対策の進捗状況について

1 生ごみ減量対策事業の実施状況



2 事業の概要及び実績

(1) 生ごみ減量運動推進事業

市民一人ひとりが自分のライフスタイルに合った方法で生ごみ減量に取り組めるよう、水切り講座など各種講座を開催するとともに、様々な減量方法を紹介するマンガ版ガイドブックを出前講座やイベント時に配布。

平成26年度には生ごみ減量DVDを製作し、図書館等での貸し出しや講座・研修会で活用した。

年度	開催講座
25年度	生ごみ水切り講座：76名(2回)
	生ごみ堆肥化講座：31名(1回)
	クッキング講座：38名(1回) 計145名
26年度	生ごみ水切り講座：58名(2回)
	生ごみ堆肥化講座：47名(2回)
	クッキング講座：46名(2回)
	段ボールコンポスト講座：20名(1回) 計171名



【DVD画面】

(2) 乾燥生ごみ拠点回収事業

電動生ごみ処理機の普及を図るため、市内10ヶ所の拠点で乾燥生ごみを回収、市施設で堆肥化を行い希望者に無料配布を行っている。

平成27年度には、これまでの重量に応じた市共通商品券の進呈に加え、「にいがた未来ポイント」(環境政策課)対象事業としてのポイントも付与される。

年度	回収量(kg)
25年度	3,739
26年度	3,878
27年度(6月末)	771



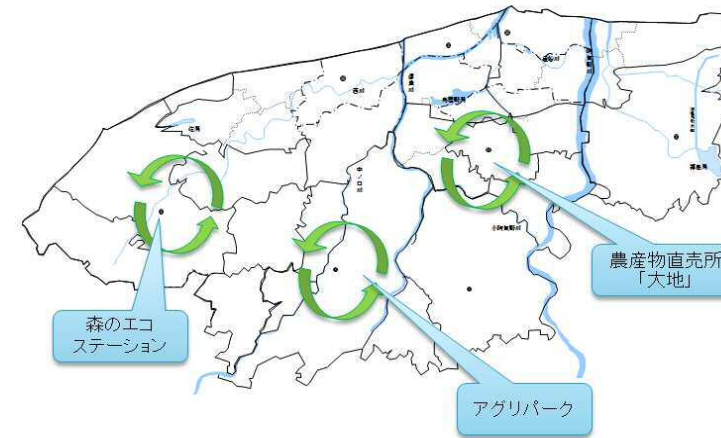
【ポイントカード・パンフレット】

(3) 地域における生ごみ堆肥化活動支援事業 ※H27~食品リサイクル地域活動支援事業へ移行

① 地域における生ごみ堆肥化活動

活動が各所で展開されることを目指し、平成24年度より江南区(亀田地区)で実施していたモデル事業の成果を踏まえ、平成27年7月から拠点を2ヶ所(南区・西蒲区)増設し、地域の堆肥化活動を支援する循環ループを拡大した。

年度		江南区	南区	西蒲区
25年度	生ごみ回収量(kg)	1,079		
	会員数(人)	61		
26年度	生ごみ回収量(kg)	2,212		
	会員数(人)	74		
27年度(7月現在)	生ごみ回収量(kg)	534	-	-
	会員数(人)	74	8	32



【処理機内の生ごみ】



【会員証】

② 段ボールコンポストの普及

家庭で手軽にできる生ごみ資源化方法として、段ボールコンポストの減額販売や講習会の開催を通じて、広く市民への普及を目指す。

平成27年6月7日(日)、段ボールコンポスト講座を開催。参加者には約3か月間モニターとして、試作品の使用状況や報告書の提出についてご協力いただいている。

モニター等の結果を踏まえ、当市オリジナルの段ボールコンポストを製作し、10月からの販売を目指す。



【講座(食育・花育センター)】

【モニター用セット】

(4) 学校給食残さの飼料化・堆肥化

平成26年10月に示された「今後の食品リサイクル制度のあり方について」では、再生利用方法の優先順位として、①飼料化、②肥料化、③メタン化等のエネルギーの再生利用としている。このことを踏まえ、養豚業者による学校給食残さ飼料化事業について、平成27年度は対象とする学校給食センターを増やし、新たな食品リサイクルルートを開拓した。

① 学校給食残さ飼料化

年度	回収量(t)	対象施設数
25年度	60.77	2
26年度	47.50	2
27年度(6月末)	20.59	4

② 学校給食残さ堆肥化

年度	回収量(t)	対象施設数
25年度	434.13	87
26年度	458.40	88
27年度(6月末)	114.83	84